

突然起こる災害に備える ポータブル電源で安全・快適な「車中泊避難」を ～長期的な車中泊に役立つソーラーパネルもご紹介～

ポータブル電源・ソーラーパネルの世界的リーディングカンパニー・Jackery（ジャクリ）の日本法人である株式会社 Jackery Japan（本社：東京都中央区）より、車の中で避難生活を送る「車中泊避難」に関するニュースをお届けします。



今年の7月1日で能登半島地震から半年が経ちます。能登半島地震の際、感染症への警戒心やプライバシー確保の問題から、避難所に入らずに「車中泊避難」を選択する人が多数存在したと言われていました。加えて、ペットの同伴や避難所までの経路が危険といった理由で、「車中泊避難」を余儀なくされるケースもありました。今後発生する可能性の高いと言われている南海トラフ地震でも、災害から1週間後に発生しうる避難者最大880万人のうち420万人が、車中泊など避難所以外で過ごすと予測されています*1。

ところが、「車中泊避難」には、体調管理や車内温度調節など、様々なリスクが存在します。そこで、突発的な災害の発生時に安全かつ快適な「車中泊避難」を実施できるよう、想定されるリスクやその対策方法についてご紹介します。

*1 国土交通省「防災・減災、国土強靱化～中長期的な視点からの問題提起～」（2022）

お問い合わせ先：Jackery Japan PR 事務局（株式会社 プラップジャパン内） jackery_pr@prap.co.jp

画像ダウンロード先：<https://prap.gigapod.jp/f6dd34522f51275ec469f1b6b12dfe98313228962>

1. 「車中泊避難」の注意点

突然起こる災害で、「車中泊避難」を余儀なくされる人が存在する中、能登半島地震から1か月経っても「車中泊避難」を継続する人が少なくとも100名以上いたと言われています*2。避難期間が長期間になるほど、車中泊に伴うリスクは増大します。ここでは「車中泊避難」の際の注意点についてご紹介します。

*2 石川県「災害対策本部員会議資料」(2024)

1 エコノミークラス症候群

「車中泊避難」でまず気を付けなければならないのがエコノミークラス症候群です。エコノミークラス症候群とは、食事や水分を十分に取らない状態で、車などの狭い座席に長時間座っている際に、血行不良が起こり、血液が固まりやすくなってしまいます*3。能登半島地震の際も、長期的に車中泊を続ける人の中には、エコノミークラス症候群に近い症状の人が見受けられたと言われています。

*3 厚生労働省 HP「エコノミークラス症候群の予防のために」(参照：2024-6-17)

2 車内の温度調節

車中泊で重要なのが車内の温度調節。特に寒い季節の「車中泊避難」には、低体温症や凍傷の危険性が伴い、防寒対策が必須です。しかしながら、エアコンのためにエンジンをかけっぱなしにしていると、ガソリンが徐々に消費され、バッテリーが上がってしまうなどのリスクが発生します。



2. エンジンなしでも安全・快適に！車中泊避難で役立つポータブル電源

車のエンジンをかけ続けて暖を取ると、バッテリーが上がるだけでなく、ガス欠や、天候によっては一酸化炭素中毒の危険性も伴います*4。また、想像以上にガソリンが減ってしまうこともあります。ポータブル電源があれば、エンジンなしでも車内で快適に過ごすことができます。

*4 Jackery Japan「冬の車中泊は危険がいっぱい？寒さ対策を万全にするための6つの方法」

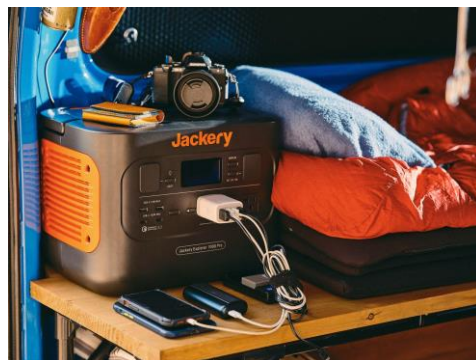
1 車内の温度調節に欠かせない「ポータブル電源」

ポータブル電源を用いることで、夏は扇風機やポータブルクーラー、冬はヒーターや電気毛布、電気あんななどを利用できます。クーラーを使わずに済むため、燃料やバッテリーの消費を気にせずに温度調節をすることができます。災害時だけでなく、日常の車中泊でも大活躍の製品です。



2 スマートフォンや PC の充電で心の安定を

災害時の連絡手段・情報収集・気分転換などに必要なのがスマートフォンや PC。スマートフォンの充電が切れると不安やストレスが増大します。そんなときにポータブル電源があると安心です。



3 ソーラーパネルと組み合わせて長期間でも快適な車中泊に

災害時の長期的な車中泊において大きな役割を果たすことができるポータブル電源ですが、家電を使うと電池容量が減ってしまいます。そんな中、ソーラーパネルと併用して晴れた日中に充電することで、毎日安定して家電を使うことができます。車外に出てソーラーパネルを設置することで、軽い運動にもなり、エコノミークラス症候群を引き起こす原因である“狭い車内で長時間同じ姿勢でいる状態”を防ぐきっかけにもなります。



3.能登被災地への取材で見た、災害時の Jackery 製品活用事例

Jackery Japan では、能登半島地震の際に、製品の無償提供を実施しました。輪島市、珠洲市、能登町、穴水町の4つの地域を中心に、ポータブル電源やソーラーパネルを合計260台（2400万円相当）提供しました。



◎被災地での活用方法と活用者の声

被災地におけるポータブル電源の用途の8割は、スマホの充電でした。避難所になる体育館はもともとコンセントが少ない場所であり、電気が通った後も避難者の方々は気を遣いながら充電をしていました。充電が減る中、スマホが使えないことに不安を感じる方が多く、ポータブル電源を配置することで安心して電気が使えるようになりました。



ポータブル電源が使えることで、**大規模な設備が必要とされる炊き出しのハードルが一気に下がりました**。ガスやコンロを備えた大型の車両といった設備が無くとも、Jackery のポータブル電源を活用して保温するという方法を取ることができたため、必要機材が減り小規模な炊き出しを手軽に行うことができるようになりました。



ソーラーパネルも非常に役立ちました。天候の悪い日でも減った電池残量が回復できるのは非常に助かりました。ソーラーパネルとポータブル電源の組み合わせだけで長期間コンセントで充電をせずに洗濯機を使っている方もいました。



◎現地で活動されている支援団体からの声

被災地に届いた Jackery のポータブル電源を起動してみて、充電が 100%に近い数値で驚いた。これが 20%など少ない電池残量だと意味がないため、本当に助かった。しかも、前日に提供を依頼すると翌日には大量の製品が用意してあって、全部充電してある。それがどれだけ大変か同じユーザーとして痛いほど分かるし、だからこそ非常にありがたかった。

(災害支援ボランティア・一般社団法人四番隊 伊藤純氏)



4. 「車中泊避難」におすすめの商品

災害発生時にも、日常の車中泊の際にもおすすめのポータブル電源やソーラーパネルのセットをご紹介します。貸し出しも可能ですので、ご興味がある際は是非ご連絡ください。

◎大容量と軽量設計を兼ね備えた新製品！長期間の車中泊でも安心

Jackery ポータブル電源 1000 New ポータブル電源とソーラーパネル セット

大容量なのにコンパクトな「Jackery ポータブル電源 1000 New」とソーラーパネル「Jackery SolarSaga 100」のセット商品。「Jackery ポータブル電源 1000 New」は、大容量の 1070Wh でありながら、重量は 10.8kg で、同じ容量の製品の中で最軽量。最速 60 分の緊急充電に対応し、幅広い家電に対応する充電性能と持ち運びやすい軽量設計を兼ね備えているのが特徴です。毎日充電しても 10 年間長持ちする高耐久 LFP(LiFePO4)バッテリーを搭載しています。

- ・容量：1070Wh
- ・定格出力：合計 1500W
- ・重量：約 10.8kg
- ・AC 充電時間：最速 1 時間
- ・ソーラー充電時間：最速 3 時間
- ・製品ページ



<https://www.jackery.jp/products/solar-generator-1000-new-100w>

◎軽くてコンパクト！災害時にも頼れる一台

Jackery Solar Generator 600 Plus ポータブル電源とソーラーパネル セット

軽くてコンパクトな中容量モデル「Jackery ポータブル電源 600Plus」と、最大出力 100W のソーラーパネル「Jackery SolarSaga 100」のセット商品。「Jackery ポータブル電源 600Plus」は、長寿命のリン酸鉄リチウムイオン電池を搭載。約 4000 回の充放電サイクルにより毎日使っても 10 年間お使いいただけます。持ち運びのしやすさ、容量、出力のバランスが良く、家庭でコンセントが届かない場所等での小型電化製品の使用、予期せぬ停電や災害発生時の重要なバックアップ電源としてシームレスに活躍します。

- ・容量：632.3Wh
- ・定格出力：合計 800W
- ・重量：約 7.3kg
- ・AC 充電時間：最速 1 時間
- ・ソーラー充電時間：最速 3.5 時間
- ・製品ページ



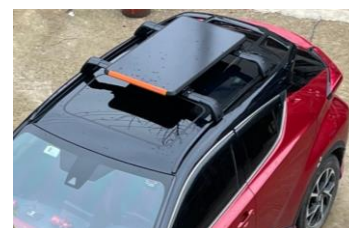
<https://www.jackery.jp/products/explorer-600plus-solarsaga100>

◎車に固定して充電できる！Jackery 初の固定式ソーラーパネル

Jackery SolarSaga 100 Prime

折り畳み式のソーラーパネルとは異なり、車やご自宅の屋根などに固定して安全に利用できる固定式ソーラーパネル。最先端の IBC 太陽電池技術を採用し、従来の PERC 技術より発電効率が最大 20%アップ。単結晶シリコンを採用することにより、他の素材と比べて変換効率に優れており、安定性が高いことが特徴です。両面発電により、暑い夏や寒い冬、曇り空でも発電能力を十分に確保できます。

- ・最大出力：100W±5%
- ・交換効率：25%
- ・サイズ：986x552x29mm
- ・正味重量：6.0Kg
- ・製品ページ



<https://www.jackery.jp/products/jackery-solarsaga-100-prime>

5. Jackery について

2012 年、アメリカ・カリフォルニア。「グリーンエネルギーをあらゆる人に、あらゆる場所で提供する」という、壮大なビジョンのもと、私たち Jackery は、誕生しました。2016 年には、ブランド初となるアウトドア用ポータブル電源を発売。さらにその 2 年後には、ブランド初のポータブルソーラーパネルを開発しました。製品を世に生み出すだけでなく、「あらゆる人に、あらゆる場所で」というビジョンを実現させるため、少しでも軽く、少しでも出力を高め、あらゆる安全機能を追加して、製品を日々向上させています。私たちが、「あらゆる人に、あらゆる場所で」提供したいのは、ただのエネルギーではありません。私たちは、冒険に、アウトドアに、グリーンエネルギーをもたらしたい。ソーラーパワーという、限りのないクリーンなエネルギーをもたらしたい。Jackery はこれからも、世界中の冒険家やアウトドア愛好家たちがサステナブルな方法で自然を楽しみ、地球を守り、協力しあえるよう、太陽光という贈り物を生かして、全力でサポートを行っていきます。グリーンエネルギーが、当たり前になるその日まで。私たちの冒険はつづきます。

Jackery
Solar Generator

世界リーディングブランド
販売台数400万台突破 × 創立12年の実績

※2022年～2024年3月までのグローバル販売台数（注）※注1

※世界リーディングブランドを達成するに12年かかると2022年時点で500万台以上を達成

■会社概要

会社名：株式会社 Jackery Japan

所在地：東京都中央区晴海 1 丁目 8 番 10 号 トリトンスクエア X 棟 3 階

事業内容：ポータブル電源とソーラーパネルの販売

公式サイト：<https://www.jackery.jp>

X（旧 Twitter）：<https://twitter.com/jackeryjapan>

Instagram：<https://www.instagram.com/jackeryjapan>

Facebook：<https://www.facebook.com/jackeryjapan>

TikTok：<https://www.tiktok.com/@jackeryjapan>

LINE：<https://page.line.me/jackeryjapan>

YouTube：<https://www.youtube.com/JackeryJapan>